【普通科】　３年次　【選択】科目「生活の科学」授業のシラバス

１　概要

教科名	理科	科目名	生活の科学	単位数（コマ数）	２（７０）
科目の目標	生活に関わる基本的な現象・事象への理解を深め、多様な考え方により、科学と生活との関わりに気づき、それらを活用する態度を育てる。				
教科書(出版社)	購入しません			副教材(出版社)	購入しません

２　学習の方法

(1)　予習について

中学校での理科の知識や一部家庭科の知識が基本となりますので、しっかり確認しておきましょう

(2)　授業について

プリント等を適宜使うことになりますので、収めるファイル等を準備しておいてください。

(3)　復習について

教科書、問題集がありませんので、授業をしっかり受け、ノート作りを行いましょう。

〈学習アドバイス〉

教科書を使う科目ではないので、１回１回の授業がとても大事です。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣旨
①　知識および技能	気象に関わる知識や原理・法則を理解することができる。 観察・実験の技能を習得するとともに、結果を記録して考察することができる。
②　思考力・判断力・表現力	学習したことや観察・実験で得た結果から論理的に考察することができる。
③　主体的に学習に取り組む態度	気象に関わる現象に関心をもち、自主的・意欲的にそれらを探究する。

(2)　評価の方法（以下観点①～③は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料 観　点	割合	定期考査・確認テスト 実力テスト		ノート・問題集への取り組み	実験プリント	発言･発表
①　知識および技能	４０%	◎	授業内容の基礎レベル 実験器具の使い方や、手順等	○	○	○
②　思考力・判断力・表現力	３０%	◎	授業内容の標準レベル、論述	○	○	
③　主体的に学習に取り組む態度	３０%			◎	◎	◎

〈担当者からのメッセージ〉

身近な現象に興味を持ち、「なぜ」、「どうして」を大事にし、考えることが科学です。いつもは気にもしない身の回りの現象に注意を傾けられるようになりましょう。

【普通科】　３年次　【選択】科目「生活の科学」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	衣服の科学	6	・化学と繊維	①②③	繊維の種類や特徴、用途について理解することができる。	
5		8	・合成繊維 ・天然繊維		合成繊維の種類や特徴を理解することができる。 実験室レベルでの合成繊維の作成ができる。 天然繊維の種類や特徴を理解することができる。	
6 7	食品の科学	8	・炭水化物とは ・タンパク質とは ・脂質とは		三大栄養素について、その特徴やはたらきの違いについて理解できる。	前期中間考査
		8	・食の安全		食品添加物の安全性や腐敗、食中毒の条件やリスクについて思考、考察することができる。	
8	熱の科学	4	・熱の性質 ・熱の利用		熱とは何かと、熱に関わる諸法則を理解できる。 熱を利用したものや、エネルギーの変換によって暮らしを支えているものについて考察することができる。	
9	電気の科学	8	・電気の性質 ・電気の作り方		電気とはなにかを理解できる。 発電の種類や特徴、違いについて理解し、将来の電源として何がいいかを考察できる。	前期末考査
後期 10		10	・電気の利用と資源		電気がどのように暮らしに関わっているか考察することができる。	
11	光の科学	10	・波と光 ・波長と電磁波		波の現象を理解できる。 電磁波の種類や特徴、性質について理解できる。	後期中間考査
12		6	・光と視覚		視覚と認知について理解し、自分の盲斑を調べることができる。	
1		2				
		計 70				

※　観点別評価①は知識および技術、②は思考力・判断力・表現力、③は主体的に学習に取り組む態度を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。